

広島平和記念資料館
平成24年度第1回企画展

基町

姿を変える広島開基の地



戦後の住宅難のなか、人々は住む場所を求めました。基町の西端、太田川沿いの土手には、「相生通り」と呼ばれたバラック住宅の街が出現しました。
1962年(昭和37年)7月 所蔵/中国新聞社

- 期間 2012年(平成24年)7月13日(金)～12月12日(水)
- 時間 8:30～18:00 (8月は19:00閉館。12月は17:00閉館) 入館は閉館時刻の30分前まで
- 会場 広島平和記念資料館 東館 地下1階 展示室(5) **入場無料**

基町

姿を変える広島開基の地

明治維新後、広島は、中国・四国地方の政治・経済の中心として発展し近代化していく中で、軍都、学都としての性格を強めていきました。

広島城の外堀と太田川に囲まれた城郭帯は、「広島開基の地」とあることから、基町と呼ばれるようになりました。明治時代から昭和初期にかけて、基町には軍の施設が次々と設けられ、軍都を象徴する町となっていきました。

1945年(昭和20年)、原子爆弾の投下により、爆心地に近かった基町は壊滅的な被害を受けます。被爆後、市の中心に現れた広大な土地は性格を一変します。家を失った人々の住宅地として、また、公園、図書館、市民球場など、人々が集う場所として、広島の復興に大きな役割を果たしました。

今回の企画展では、広島の歴史の縮図ともいえる基町の、今日までの歩みをたどります。

展示構成

- 軍都の中心
- 壊滅
- 再建から再開発
- にぎわいの場へ
- そして、今



広島鎮台司令部本館
明治時代初期 所蔵/広島城



招魂祭
1934年(昭和9年) 作者/上西 薫氏



倒壊した広島城天守閣
1945年(昭和20年)10月6日 撮影/三木 茂氏



陸軍兵士のズボン
福永三二さんは中国軍管区歩兵第1補充隊の兵舎で被爆しました。
寄贈/福永 三二氏



相生通り 1967年(昭和42年)8月14日
撮影/佐々木 雄一郎氏 提供/塩浦 雄悟氏



児童図書館で読書をする子どもたち
1952年(昭和27年)
所蔵/中国新聞社



竣工した広島市民球場
1957年(昭和32年)7月
撮影/佐々木 雄一郎氏 提供/塩浦 雄悟氏



再開発事業が終了した基町
1978年(昭和53年)9月26日 所蔵/中国新聞社

広島平和記念資料館 学芸課

〒730-0811 広島市中区中島町1番2号

TEL 082-241-4004 FAX 082-542-7941 E-mail:hpcf@pcf.city.hiroshima.jp

交通案内

JR広島駅南口から
(所要時間約20分)

■バス/広島バス吉島方面行で「平和記念公園」下車

■市内電車/紙屋町経由広島港(宇品)行で「中電前」下車、宮島口・江波行で「原爆ドーム前」下車